

交通安全通信

第九号（秋号）

～地域交通安全センター～
スルガ自動車学校

〒424-0204
静岡県清水区興津中町5 2 2 - 1
フリーダイヤル0120-017-120

秋の全国交通安全運動実施中

目的

この運動は、広く県民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けることにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的とする。

実施期間

九月二十一日（火）～九月三十日（木）までの十日間

スローガン

「安全は自ら うちから 地域から」

運動の基本

高齢者の交通事故防止

運動の重点

夕暮れ時と夜間の歩行中、自転車乗車中の交通事故防止特に、反射材用品等の着用の推進

全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

飲酒運転の根絶

各市町交通安全対策協議会等が決定する事項

高齢運転者標識「もみじマーク」をクローバー基調に変更へ「枯れ葉のよう...」との批判受け

「枯れ葉のようだ」との批判を受けて見直しが検討されていた高齢運転者標識「もみじマーク」について、警察庁は八月十九日、公募した4案と現行マークの中から、「ドライバーからのアンケート結果などを踏まえ、四つ葉のクローバーとシニアの「S」を組み合わせた公募案の採用を決め、国家公安委員会で了承された。近く道路交通法施行規則を改正し、年内の導入を目指す。当面は現行マークの使用も認めるといふ。同庁によると、新しいデザインは大阪市のグラフィックデザイン

ナー松山幹生さん（三十一歳）が考案したもので、緑や黄色などを配置し、活発な高齢者のイメージを表現した。もみじマークをめぐっては、警察庁が昨年十一月、新たなデザインを公募。今年六月、クローバーのほか、「色とりどりの輪」と「稲穂とハートを支える手の形」「ハートと鳥と手の組み合わせ」の4案を候補に選んだ。この4案に現行マークを加え、免許更新に訪れたドライバークロバーから約3500人にアンケートを実施したところ、4割を超える人がクローバーを支持。「色合いがさわやかで印象がよく、高齢運転者が誇りを持って表示できる」「なまこ高齢ドライバーの支持率も38%で最も高かったという。一般から寄せられた意見約1400件でもクローバー支持が27%と最多。理由として「四つ葉のクローバーは幸せの象徴で幸せな気分で運転できそう」「カラフ



高齢運転者標識の新マーク（左）と現行のマーク

ルな色使いでどのような車にも合う」などの意見があった。一方、現行マークの支持も根強く、デザインナーへのアンケートでは、338人中132人（39%）と2位のクローバー（47人、14%）を大きく上回った。ドライバークロバーへのアンケートと一般からの意見でも2番目の支持率で、「すでに浸透しているデザインを変える意味が感じられない」「国も使う人も余計なお金がかかる」と変更することに否定的な意見が目立った。



家族で楽しめるお祭り!!

第7回フェスタ・スルガ

11月14日(日)開催

「二輪ジムカーナ競技会」「白バイ隊との記念撮影会」「英会話発表会」
「チアリーディング」「食品ブース」「ゲームコーナー」「バザー」など盛りだくさん
みんな来てね!!

去年は天候にもめぐまれ多くの方に来場していただきました。
今までのフェスタ・スルガの様子を紹介します。



スルガマリンスービスでは折戸湾内で開催された「マリンスフェスタ(七月十八日)」、「清水みなと祭り(八月一日)」において海上警備活動を行いました。海上の交通安全を推進する社団法人・関東小型船舶安全協会員として日頃より活動を行っています。この2つの大きなイベントは参加者・見学者の双方の安全を確保する重要な任務として認識し、事故・負傷者ゼロを続けています。海での安全を守る海上安全指導員としてスルガマリンスービスは日夜努力を怠りません。



スルガ塾では、自然との共生、協調性、主体性を育むことを目的とし、八月三日～四日に「富士山こどもの国」において、一泊二日のアウトドア体験を実施しました。「ナイトウォーク」では、明りのない世界を体験し、初めての体験に電気の重要性や大切さを深く理解しました。また、夕食作りを通し、親への感謝の心を育んだようでした。いろいろな小学校の生徒達が集まったアウトドア体験でしたが、どのグループもしっかりとした団体行動がとれ、皆、充実した二日間を過ごすことができました。

スルガ自動車学校地域貢献活動報告